

2025 年 1 月 23 日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
(コード番号：8424 東証プライム)
代表取締役社長 織田 寛明

能登地域の復旧・復興を支援する「のと Beyond 復興ファンド」への出資

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、株式会社北國フィナンシャルホールディングス（石川県金沢市、代表取締役社長 杖村修司、以下「北國FHD」）の傘下である株式会社 QR インベストメント（石川県金沢市、代表取締役 浜野文雄、以下「QR インベストメント」）および BP キャピタル株式会社（東京都中央区、代表取締役 松多洋一郎、以下「BP キャピタル」）が能登地域の創造的復興を目的に共同で設立したファンド「のと Beyond 復興投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）への出資を実施いたしましたのでお知らせいたします。

本ファンドは能登地域に営業基盤を置く企業や能登地域の復興に資するビジネスを行う企業への投資を通じて、令和 6 年能登半島地震からの復旧とその先 100 年後の未来を見据えた創造的復興を成し遂げることを目的としており、本ファンドと北國FHDグループが連携し、資金提供のみならずコンサルティングも含めた幅広い支援を行うことを企図しています。

芙蓉リースは、地震発生から 1 年が経過した現在でも復旧・復興活動が行われている能登地域の未来を見据えた創造的復興を目指す本ファンドのコンセプトに賛同し出資を決定いたしました。

本ファンドへの出資を通じ、芙蓉リースグループと能登地域に営業基盤のある企業や能登地域の復興に資する企業とのシナジーを目指すと共に、被災前のすがたに返すのではなく新しい時代にふさわしい地域をつくる創造的復興による地方創生に貢献します。

芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。本ファンドへの出資により震災からの創造的復興の実現を目指すとともに、豊かな社会の実現と持続的な成長に貢献してまいります。

◆ファンドの概要

名称	のと Beyond 復興投資事業有限責任組合（略称：のと Beyond 復興ファンド）
設立	2024 年 9 月 2 日
存続期間	10 年（但し、合意により 2 年間の延長可能）
投資対象	➤ 主として能登地域に営業基盤のある企業や能登地域の復興に資する企業の株式・社債・新株予約権等 ➤ スタートアップ企業の場合、シード（プレシード含む）からレイターまで全ステージが対象
特長	➤ 能登地域の環境・社会・経済を含めた創造的復興に必要な事業を展開する企業の成長・承継を支援 ➤ コンサルティングも含めた幅広い支援において北國FHDグループと連携 ➤ 現地企業等が必要とする知見や技術を有する様々な企業とのコラボレーション
無限責任 組合員	株式会社 QR インベストメント BP キャピタル株式会社
有限責任 組合員	株式会社北國銀行 興能信用金庫 のと共栄信用金庫 芙蓉総合リース株式会社 アステナホールディングス株式会社 ※順次募集中

<シンボルマーク>



シンボルマークは、能登の祭りで使用されるキリコをモチーフとしており、金沢美術工芸大学の学生に制作していただきました。「祭りの夜を照らし出すキリコのように、被災した能登へ明るい希望の光が照らされるように…」という願いが込められています。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）山崎

電話番号：03（5275）8891 URL：<https://www.fgl.co.jp/>